

「スマートテレワークタウン ローカル5Gラボ@上越妙高」 サテライト施設の完成、及びオープニングセレモニー開催について

株式会社丸互（代表取締役社長：前川 秀樹）と東日本電信電話株式会社 新潟支店（新潟支店長：徳山 隆太郎、以下、NTT東日本）、及び他8企業等は、産学官金一体のコンソーシアムを形成し、新潟県「アフターコロナを見据えたイノベーション創出支援事業（オープンイノベーション部門）」（令和2年12月25日採択）ならびに総務省「情報通信利用促進支援事業（地域サテライトオフィス整備推進事業）」（令和3年5月31日採択）において、令和3年5月より推進プロジェクトを開始いたしました。

この度、本プロジェクトの中心施設であるローカル5Gを整備したスマートテレワークタウン（以下、JM-DAWN※）が完成したことから、オープニングセレモニーを開催いたしますので、お知らせします。

※ JM-DAWN (Joetsu Myoko Digital Active Working Network) ジェーエム・ドーン (JM = 上越妙高 DAWN = 夜明け)

1. 背景・目的等（別紙-1・2参照）

新潟県をはじめとする全国の地方都市が共通して抱えている課題として、若年世代の県外流出による生産人口の減少やそれに伴う地域経済の低迷が挙げられるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、多様な働き方やワーケーションなどのニーズが顕在化しています。

これらを踏まえ、ウィズコロナ、アフターコロナにおける新潟県の課題をICTによる非接触・遠隔等で解決するとともに、若者が希望するようなスタートアップ企業の誘致・育成による人口流入、及び流出抑制等を通じ、地域の活性化を図ることを目的として、新潟県初となる屋内外型ローカル5Gラボ「JM-DAWN」を上越妙高駅周辺エリアに設置いたしました。

2. 事業コンソーシアムの参画企業等

株式会社丸互（事業主体）、NTT東日本（プロジェクトリーダー）、上越市（連携自治体）

株式会社TOSYS、株式会社飛田観光開発、株式会社北信越地域資源研究所、国立大学法人新潟大学

株式会社アイ・シー・オー、クラスメッド株式会社、株式会社第四北越銀行

3. 報道関係者様向けオープニングセレモニー

- 日 時 2021年10月8日（金） 11時00分～14時00分
- 場 所 メイン会場：JM-DAWN（エンジョイプラザ2F 上越市大和5-2-7）
リモート会場：NINNO（新潟プラカ2 2F 新潟市中央区笹口1-2）
- 参加者 株式会社丸互代表取締役社長、NTT東日本新潟支店長 他
- 式次第 ①挨拶（コンソーシアムメンバー、来賓）
②産学官の今後の取組み（コンソーシアムメンバー、APRESIA Systems）
③ローカル5Gデモンストレーション
 - ・アルビレックスチアリーダーリングリモートレッスン
 - ・AI顔認証
 - ・ドローンを用いた映像伝送
 - ・スマート農業
 - ・VR映像伝送

※なお、感染症対策の観点から事前登録制とさせていただきます。あらかじめ株式会社丸互（下記問合せ先）までご連絡をお願いいたします。

(参考)

- NTT東日本新潟支店「スマートテレワークタウンローカル5Gラボ@上越標高」推進プロジェクトの開始について」
2021.5.26
URL : <https://www.ntt-east.co.jp/niigata/news/>

- 新潟県「アフターコロナを見据えたイノベーション創出支援事業（オープンイノベーション部門）における補助対象者の決定について」
URL : <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/ict/1356890594512.html>

- 総務省「令和3年度予算 情報通信利用促進支援事業費補助金（地域サテライトオフィス整備推進事業）に係る採択候補の決定及び追加公募（第2次募集）の実施」
URL : https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu18_02000001_00015.html

- 新潟県「IT企業誘致拠点整備促進事業」

- 上越市「ワーキングスペース整備支援事業」

「スマートテレワークタウン・ローカル5Gラボ@上越妙高」推進プロジェクトの概要等

背景と目的、事業の概要など

「スマートテレワークタウン・ローカル5Gラボ@上越妙高」 推進プロジェクト

背景と目的

- ・ウィズコロナ、アフターコロナにおける新潟県の課題をICTにより非接触・遠隔等で解決し、県民の福祉増進と県内産業の活性化を図ることを目的とする。
- ・新潟県の最大の課題である人口減少（特に社会動態）に歯止めがかからないのは、若者が就職する際、希望する企業や職種が少ないことが要因の一つと考えられる。
- ・一方で、コロナ禍の経験により、企業における多様な働き方へのシフト、集中から分散化、ワーケーションなどのニーズが顕在化。この動きを捉え人口の流入を促すためには、他の地域と差別化された最先端の情報通信基盤のある拠点の整備が必要。
- ・そこに若者が希望するようなスタートアップ企業等を誘致、育成することにより、企業や人員の流入促進、流出抑制を目指すとともに、県内産業の活性化を図り、新潟県の最大の課題である人口減少（社会動態）を解決に導くモデルを構築する。

事業の概要

- ・上越妙高駅周辺エリアに超高速ネットワークに接続された、国内でも稀有な「屋内外型ローカル5Gラボ」環境を整備。
- ・ローカル5Gを設置したコワーキング/サテライトオフィスには、臨場感のある4K対応高精細遠隔会議システム、セキュアなテレワークツールを整備。
- ・圧倒的な臨場感でストレスのないコミュニケーションや遠隔授業・レッスンなどを実現。
- ・最新の5G環境を活用したサービス・プロダクト開発を目指す地元企業やスタートアップ企業等を誘致、集積。
- ・優秀な人材の確保と地域産業の活性化を目指す。

イメージ



ローカル5G@上越妙高の配置イメージ

「スマートテレワークタウン・ローカル5Gラボ@上越妙高」 推進プロジェクト_(3)プロジェクト概要③

上越妙高駅周辺地域ゾーン配置図

上越妙高駅周辺の交通の利便性、上越市の釜蓋遺跡公園等を活用した「屋外ラボゾーン」、周辺屋内施設を活用した「屋内ラボゾーン」、超高精細会議を完備した「遠隔コミュニケーションゾーン」の3ゾーンを整備。また、フルサットのスタートアップ拠点支援機能を加え、5Gを最大限活用したスタートアップ拠点の仕組みとして発信



「スマートテレワークタウン・ローカル5Gラボ@上越妙高」推進プロジェクトの概要等

L5G屋内スタジオ・サテライトオフィス・ワークスペース「JM-DAWN」

